

第36回(2024年度)学長表彰者一覧

学長賞 (団体)

No.	項目	選考指針	団体名または氏名(所属)	推薦理由および受賞経歴
1	団体	③	軟式庭球部(計6名) トリコエ リョウタ 代表者 鳥越 亮太 (商学部経営学科2年生)	第46回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会(5月1日～5月3日)において5位入賞し、全国大会の出場権を獲得。第78回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会(9月14日～9月15日)に2回戦から出場し、2回戦突破。 2023年度学長奨励賞(団体④)受賞。
2	団体	⑤	テコンドー部(計4名) イタ アユム 代表者 稲田 歩夢 (国際コミュニティ学部地域行政学科3年生)	第36回全日本学生テコンドー選手権大会(12月1日)に出場(予選なし)。男子団体マツギの部において、2回戦突破し、準優勝。 2023年度学長奨励賞(団体④)受賞。

学長賞 (個人)

No.	項目	選考指針	団体名または氏名(所属)	推薦理由および受賞経歴
1	個人	③	ヒラノ ショウゴ 平野 翔虎 健康科学部健康栄養学科4年生 軟式庭球部	第26回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会(5月1日～5月5日)男子の部において3位入賞し、全国大会の出場権を獲得。第66回全日本学生ソフトテニス選手権大会(9月13日)男子シングルの部に出場し、1回戦突破。
2	個人	⑥	カワシマ ユウト 河嶋 豊有人 人間環境学部人間環境学科2年生 陸上競技部	第3回東広島市陸上競技選手権大会(8月4日)において400mの標準記録を突破し、全国大会の出場権を獲得。第21回田島直人記念陸上競技大会(日本グランプリシリーズ第15戦山口大会グレード2)(10月20日)400mにおいて、4位入賞。
3	個人	③	イズミ アツキ 泉 篤希 経済科学部経済情報学科3年生 スカッシュ部	第43回関西学生スカッシュ選手権大会(8月10日～8月12日)男子の部においてベスト8に入り、全国大会の出場権を獲得。第51回全日本スカッシュ選手権(11月30日～12月3日)男子の部に2回戦から出場し、2回戦突破。

※ 上記、学長賞候補者については、広島修道大学課外活動スカラシップの採用候補者となる。

※ 団体の受賞経歴は直近過去4年を、個人の受賞経歴は全経歴を掲載している。

第36回(2024年度)学長表彰者一覧

学長奨励賞 (団体)

No.	項目	選考指針	団体名または氏名(所属)	推薦理由および受賞経歴
1	団体	③	準硬式野球部(計37名) ハシ オウジ 代表者 橋野 暁二 (人間環境学部人間環境学科2年生)	令和6年度中国地区大学準硬式野球秋季リーグ戦1部(9月10日～9月18日)において、優勝。
2	団体	③	少林寺拳法部(計6名) ヤリワケ シンイチロウ 代表者 鎗分 真一朗 (法学部法律学科1年生)	第14回少林寺拳法中四国学生冬季大会(12月8日)団体演武の部において、3位入賞。
3	団体	③	水泳部(計4名) ミシ タツヤ 代表者 三好 達也 (人文学部教育学科3年生)	第59回中国四国学生水泳選手権大会(6月22日～6月23日)男子4×100mフリーリレーにおいて2位入賞、男子4×200mフリーリレーにおいて2位入賞。 2023年度学長奨励賞(団体③)受賞。
4	団体	⑧	アイスホッケー部(計14名) ナカムラ ミコト 代表者 中村 弥琴 (商学部経営学科2年生)	第12回日本学生女子アイスホッケー大会中四国地区予選会(9月14日)において4位入賞。日本アイスホッケー連盟の推薦により第12回日本学生女子アイスホッケー大会(11月20日～11月24日)に出場。1勝2敗で予選リーグ3位。
5	団体	③④	FCフェルテ(計23名) ミヤモ タイ 代表者 宮本 太集 (国際コミュニティ学部国際政治学科2年生)	アットホームチャンピオンシップ2024中国予選(9月2日)において優勝し、全国大会の出場権を獲得。アットホームチャンピオンシップ2024第13回大学同好会サッカーフェスティバル(12月3日～12月4日)に出場し、12チーム中10位。

学長奨励賞 (個人)

No.	項目	選考指針	団体名または氏名(所属)	推薦理由および受賞経歴
1	個人	③	ツツミ トモキ 堤 智貴 法学部法律学科3年生 法律研究会	第45回九州瀬戸内学生法律討論会(6月8日)質問の部において、2位入賞。
2	個人	③④⑦	マツダ ユウカ 松田 祐佳 人間環境学部人間環境学科3年生 空手道部	第49回中四国学生空手道選手権大会(5月12日)女子個人組手において優勝し、全国大会の出場権を獲得。第68回全日本学生空手道選手権大会(7月7日)に出場。 内閣総理大臣杯第52回全日本空手道選手権大会団体戦(12月7日)に広島県代表として出場。 2022学長奨励賞(個人③)受賞。2023年度学長賞(個人③)受賞。
3	個人	④	タナカ ハヤト 田中 颯人 商学部商学科2年生 空手道部	第49回中四国学生空手道選手権大会(5月12日)男子個人組手において1回戦突破し、全国大会の出場権を獲得。第68回全日本学生空手道選手権(7月6日)男子個人組手に出場。
4	個人	④	カナオ リュウセイ 金尾 龍征 健康科学部心理学科3年生 弓道部	第72回全日本学生弓道選手権大会(7月6日)近的個人の部に出場(予選なし)。近的個人予選を通過し、近的個人戦決勝射詰(8月24日)において、決勝尺二1本目2本目を的中。
5	個人	③	イトウ リョウカ 伊藤 涼雅 法学部法律学科2年生 弓道部	第30回中四国学生弓道新人戦(2月15日～2月16日)男子個人戦において、3位入賞。
6	個人	①	タカハシ ヒロム 高橋 拓夢 商学部商学科3年生 硬式野球部	第115回広島六大学野球2024年春季リーグ戦(4月6日～6月2日)において、ベストナイン(指名打者)を受賞。

第36回(2024年度)学長表彰者一覧

7	個人	①	ハナサキ ユキト 花崎 幸人 人間環境学部人間環境学科3年生 硬式野球部	第115回広島六大学野球2024年春季リーグ戦(4月6日～6月2日)において、首位打者賞及びベストナイン(外野手)を受賞。 2023年度学長奨励賞(個人①)受賞。
8	個人	①②	タメエ ソウタ 為季 壮太 商学部経営学科3年生 準硬式野球部	令和6年中国地区大学準硬式野球秋季リーグ戦1部(9月10日～9月18日)において、打率十傑を受賞。 第42回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会(11月15日～11月17日)に「全中国選抜」として出場。
9	個人	②	タテ ヒカル 伊達 光琉 経済科学部現代経済学科3年生 準硬式野球部	第42回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会(11月15日～11月17日)に「全中国選抜」として出場。 2023年度学長奨励賞(個人②)受賞。
10	個人	①	ツキモリ ハルト 月森 遥斗 国際コミュニティ学部国際政治学科3年生 準硬式野球部	令和6年中国地区大学準硬式野球秋季リーグ戦1部(9月10日～9月18日)において、ベストナイン(外野手)、打率十傑を受賞。
11	個人	①②	テラモト リョウマ 寺本 竜馬 商学部経営学科2年生 準硬式野球部	令和6年中国地区大学準硬式野球秋季リーグ戦1部(9月10日～9月18日)において、最優秀選手賞、首位打者、ベストナイン(二塁手)、打率十傑を受賞。 第42回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会(11月15日～11月17日)に「全中国選抜」として出場。
12	個人	①②	キナガ ソウタ 北永 颯大 人間環境学部人間環境学科2年生 準硬式野球部	令和6年中国地区大学準硬式野球秋季リーグ戦1部(9月10日～9月18日)において、最多勝、最優秀防御率、ベストナイン(投手)を受賞。 第42回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会(11月15日～11月17日)に「全中国選抜」として出場。 2023年度学長奨励賞(個人②)受賞。
13	個人	④	スキウラ ケンタ 杉浦 健太 商学部商学科1年生 少林寺拳法部	第58回少林寺拳法全日本学生大会(11月3～11月4日)男子白帯緑帯の部に出場(予選なし)。予選を通過し、本戦(決勝)において3位入賞。鎗分真一郎とペア。
14	個人	④	ヤリワケ シンイチロウ 鎗分 真一郎 法学部法律学科1年生 少林寺拳法部	第58回少林寺拳法全日本学生大会(11月3～11月4日)男子白帯緑帯の部に出場(予選なし)。予選を通過し、本戦(決勝)において3位入賞。杉浦健太とペア。
15	個人	③④	ヒラマツ ナオヤ 平松 直也 人間環境学部人間環境学科4年生 水泳部	第55回中国四国学生選手権水泳競技大会(7月13日～7月14日)男子200mバタフライにおいて優勝し、全国大会の出場権を獲得。第100回日本学生選手権水泳競技大会(9月5日～9月8日)に出場。 第28回広島県学生選手権水泳競技大会(5月19日)男子200mバタフライにおいて優勝。 第59回中国四国学生水泳選手権大会(6月22日～6月23日)男子200mバタフライにおいて優勝。 2022年度学長奨励賞(個人③)、2023年度学長奨励賞(個人③④)受賞。
16	個人	③	ミシ タツヤ 三好 達也 人文学部教育学科3年生 水泳部	第59回中国四国学生水泳選手権大会(6月22日～6月23日)男子400m自由形において、2位入賞。男子200m自由形で3位入賞。
17	個人	③	ヤマウチ モエカ 山内 萌加 健康科学部健康栄養学科2年生 水泳部	第55回中国四国学生選手権水泳競技大会(7月13日～7月14日)女子400m個人メドレーにおいて、3位入賞。 第22回中国四国学生秋季水泳記録会(10月20日)女子200m平泳ぎにおいて、優勝。 2023年度学長奨励賞(個人③)受賞。
18	個人	③	テツマス カイト 鉄増 海人 経済科学部経済情報学科1年生 水泳部	第59回中国四国学生水泳選手権大会(6月22日～6月23日)男子1500m自由形において、2位入賞。男子400m自由形で3位入賞。 第55回中国四国学生選手権水泳競技大会(7月13日～7月14日)男子1500m自由形において、2位入賞。男子400m自由形で3位入賞。

第36回(2024年度)学長表彰者一覧

19	個人	③④	ヤマダ サワキ 山田 爽生 法学部法律学科2年生 軟式庭球部	第68回中国学生ソフトテニス優勝大会(5月1日～5月5日)男子ダブルスの部において準優勝し、全国大会の出場権を獲得。第79回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会(9月11日～9月12日)男子ダブルスの部に出場。2回戦から出場し、3回戦突破。平野翔虎とペア。 2023年度学長賞(個人③)受賞。
20	個人	⑧	モトシ ケンスケ 本光 健裕 商学部商学科4年生 陸上競技部	第10回NITTAIDAI Challenge Games(7月7日)男子1500mに出場。全日本インカレ標準記録を突破し、全国大会出場権を獲得。 2023年度学長奨励賞(個人③④)受賞。
21	個人	④	ナカシマ ショウマ 中島 翔馬 商学部商学科3年生 テコンドー部	第36回全日本学生テコンドー選手権大会(12月1日)に出場(予選なし)。マツギ有級男子-64kgの部において、優勝。
22	個人	④	イダ アユム 稲田 歩夢 国際コミュニティ学部地域行政学科3年生 テコンドー部	第36回全日本学生テコンドー選手権大会(12月1日)に出場(予選なし)。マツギ有級男子+71kgの部において、優勝。
23	個人	④	カヤマ ナホト 片山 知里 人間環境学部人間環境学科2年生 テコンドー部	第36回全日本学生テコンドー選手権大会(12月1日)に出場(予選なし)。マツギ有級女子-52kgの部において、1回戦突破。
24	個人	④	タケダ ヒカル 竹田 ひかる 人間環境学部人間環境学科2年生 テコンドー部	第36回全日本学生テコンドー選手権大会(12月1日)に出場(予選なし)。マツギ有級女子+52kgの部において、準優勝。
25	個人	④	ナカムラ ハジメ 中村 元 人間環境学部人間環境学科2年生 テコンドー部	第36回全日本学生テコンドー選手権大会(12月1日)に出場(予選なし)。マツギ有級男子-71kgの部において、準優勝。
26	個人	④	ナカガワ タキ 中川 拓樹 法学部法律学科4年生 スカッシュ部	第43回関西学生スカッシュ選手権大会(8月10日～8月12日)男子の部においてベスト16に入り、全国大会の出場権を獲得。第51回全日本スカッシュ選手権(11月30日～12月3日)に出場。 2023年度学長奨励賞(個人③④)受賞。
27	個人	④	フジタ リオ 藤田 梨央 人文学部人間関係学科2年生 スカッシュ部	第43回関西学生スカッシュ選手権大会(8月10日～8月12日)女子の部においてベスト14に入り、全国大会の出場権を獲得。第51回全日本学生スカッシュ選手権大会(11月30日～12月3日)に出場。
28	個人	⑧	キバタ カノ 木下 花乃 法学部法律学科3年生 個人	第14回エリーゼ音楽祭映像部門後期動画クラシックピアノコース(7月1日～9月30日)において、第1位を受賞し、全国大会の出場権を獲得。動画はエリーゼ音楽祭YouTubeチャンネルに公開された。
29	個人	⑤	ノグチ アヤカ 野口 彩花 人間環境学部人間環境学科3年生 個人	令和6年能登半島地震の被災地で広島県内の大学生グループ「晴」によるボランティア活動を2回にわたり実施し、中国新聞(6月13日、10月2日)に掲載された。また、NHK広島(11月5日)で活動内容が放送された。 2023年度学長奨励賞(個人⑤)受賞。

第36回(2024年度)学長表彰者一覧

30	個人	⑤	タニヤマ リキ 谷山 立樹 経済科学部経済情報学科2年生 個人	第52回セルバンティエーノ国際芸術祭(10月11日～27日)に「ひろしま神楽団」という県選抜チームの一員として、メキシコ合衆国グアナフアト州のアロンディガ広場特設会場(10月21日)とピセンテナリオ劇場(10月22日)にて広島神楽を2回公演。この公演活動について、中国放送(10月8日)に放送され、中国新聞(10月11日)で掲載された。なお、広島県・グアナフアト州の友好提携10周年を記念し、現地にて神楽公演を行い、文化交流を通じて広島県の魅力発信と両地域の交流促進を図った。
31	個人	③	ゴウホリ ユウナ 郷堀 友菜 商学部商学科1年生 個人	令和6年度中国五県珠算選手権大会(8月19日)種目別読上算競技において優勝。また、同大会の中国五県名人戦において予選を通過し、準名人位を獲得。

※ 団体の受賞経歴は直近過去4年を、個人の受賞経歴は全経歴を掲載している。

過去4年間の受賞者数推移(2024は候補数を記載)

		2020	2021	2022	2023	2024
学長賞	団体	0	0	2	3	2
	個人	0	3	6	10	3
学長奨励賞	団体	1	0	2	5	5
	個人	5	19	11	24	31
計		6	22	21	42	41